

ティーンズの本棚

2026年　11月 第200号
（月１回発行）

半田市立図書館
tel　0569-23-7171
亀崎図書館
tel　0569-29-5060

今月のテーマ「図書館」

図書館のお夜食

原田ひ香（はらだ か）／著　ポプラ社　（913.6/ハラ）



入場料 1000 円、19 時から夜中の 12 時まで開館する図書館に、樋口（ひぐち）乙葉（おとは）は勤めることになりました。亡くなった小説家の蔵書を整理・展示が主な業務で、一般の図書館とは異なり、貸出しはしていません。休憩時間に用意されるまかないは、井上靖の『しろばんば』のカレーやモンゴメリの『赤毛のアン』のチョコレートキャラメルといった、小説・エッセイの中の食べ物が再現されています。

新しく入った本

その本、発禁処分トスル

村上しいこ（むらかみ）／作　かわいちひろ／絵　さ・え・ら書房　（T913/ム）



中学３年の春、担任から「内申書に書くことがない」と言われた啓志郎（けいしろう）は、一念発起し、文芸サークルを立ち上げました。啓志郎のほか愛茉（えま）、聖一（せいいち）が集まり、７月には文芸誌「放射スル」を発行します。ところが、教師から発禁処分をうけてしまい…。納得のいかない３人は、真相を追ううち、40 年前学校で起きたある事件にたどりつきます。

小説家のつくりかた　書くことで生活する方法とは？

乙一（おついち）／著　筑摩書房　（T901/オ）

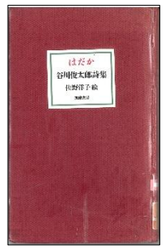


「物語を作るなんて、自分にはできない」と思っていませんか？17 歳のときにデビューして以来、30 年書き続けてきた人気作家・乙一が、「実用的な創作法」を大公開。物語の組み立て方から、作家として生き抜くコツまで、自身の経験を通して分かりやすく伝授します。書くことがもっと楽しくなる、10 代のための教科書です。

「本の森（ＹＡ図書を読む会）」のオススメ本

はだか　谷川俊太郎詩集

谷川俊太郎／著　佐野洋子／絵　筑摩書房　（911.5/タ）



「ぼくはきっとうそをつくだろう」で始まる「うそ」のほか、「さよなら」「はだか」など全 23 編の詩が収録されています。全編ひらがなで書かれ、どこか懐かしさも感じられる言葉には、やさしさや悲しみ、喪失感が込められています。１編ごとに、佐野洋子の生き生きと力強く、しなやかな絵が添えられています。

ＹＡ＝Young Adult（ヤング アダルト）の略。10 代の若い人をさす言葉です。「本の森（YA 図書を読む会）」では、半田市立図書館で２か月に１回、読書会を行っています。

５類の本



図書館の本は、日本十進分類法によって分類されています。内容によって、０類から９類まで、10 個のグループに分かれています。５類には、環境問題、建設、宇宙開発、ものづくりや料理などに関する本があります。

不便益のススメ　新しいデザインを求めて

川上浩司（かわかみひろし）／著　岩波書店　（T501/カ）



バイクが故障し、仕方なく徒歩で通学したら、好みのカフェを発見した学生の話や、あえて園庭をデコボコにしている幼稚園を例に挙げながら、「不便＝悪いこと」なのかを考えます。「不便益」の研究者である著者が、「不便益デザイン」と認定した様々なデザインも紹介。視点を変えてみると、新たな発見につながることに気づかされます。

生き抜くためのごはんの作り方　悩みに効く 16 人のレシピ

河出書房新社（かわでしょぼうしんしゃ）／編　河出書房新社　（T596/イ）



生活の基本は「衣・食・住」。そのなかでも食は、生きていくために不可欠なものです。自分ひとりで料理ができるということは、人生を生き抜くための大切なスキルです。この本では、16 人の料理のプロが、様々なシーン別に心と体を健康にしてくれる簡単レシピを紹介しています。料理は初めてという人も、ぜひチャレンジしてみてください。



半田市立図書館キャラクター
ブッくんとしおりちゃん

図書館のホームページから、蔵書の検索ができます。また、電子書籍の利用も可能です。（インターネット登録が必要です）詳しくはホームページをご覧ください。　→